4-673-839-**09**(1)

AIT オートローダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

StorStation

LIB-D81

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.
To avoid electrical shock, do not open the cabinet.
Refer servicing to qualified personnel only.

Caution

The mains plug on this equipment must be used to disconnect mains power.
Please ensure that the socket outlet is installed near the equipment and shall be easily accessible.

NOTICE

Use the power cord set approved by the appropriate testing organization for the specific countries where this unit is to be used.

Achtung

Zur Trennung vom Netz ist der Netzstecker aus der Steckdose zu ziehen, welche sich in der Nähe des Gerätes befinden muß und leicht zugänglich sein soll.

Hinweis

Maschinenlärminformations-Verordnung - 3. GPSGV, der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 dB(A) oder weniger gemäss EN ISO 7779.

Ratings
- Voltage
  - AC 100 V - 240 V
- Current
  - 0.7 A - 0.35 A
- Frequency
  - 50 / 60 Hz

Max. Ambient Temperature
- 40 degrees centigrade

Elektrische Daten
- Spannung
  - 100 V - 240 V Wechselstrom
- Stromstärke
  - 0,7 A - 0,35 A
- Frequenz
  - 50 / 60 Hz

Max. Umgebungstemperatur
- 40 ºC

A certified power supply cord has to be used with this equipment.
The relevant national installation and/or equipment regulations shall be considered.
A certified power supply cord not lighter than ordinary polyvinyl chloride flexible cord according to IEC 60227 (designation H05VV-F 3G 0.75 mm^2 or H05VVH2-F2 3G 0.75 mm^2) shall be used. Alternative a flexible cord be of synthetic rubber according to IEC 60245 (designation H05RR-F 3G 0.75 mm^2) shall be used.

Zum Netzanschluss dieses Gerätes ist eine geprüfte Leitung zu verwenden.
Es sind die zutreffenden nationalen Errichtungs- und/oder Gerätebestimmungen zu beachten.
Es ist eine geprüfte flexible PVC-ummantelte Leitung entsprechend IEC 60227 (H05VV-F 3G 0.75 mm^2 oder H05VVH2-F 3G 0.75 mm^2) zu verwenden. Andernfalls ist eine flexible Leitung aus synthetischem Gummi entsprechend IEC 60245 (Bauartkurzzeichen H05RR-F 3G 0.75 mm^2) zu verwenden.

ATTENTION

According to the EU Directives related to product safety, EMC and R&TTE the manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorised Representative is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61,70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

AUFMERKSAMKEIT

Im Sinne der EU Richtlinien bezüglich Produktsicherheit, EMV und R&TTE ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan der Hersteller dieses Produktes. Bevollmächtigter ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61,D-70327 Stuttgart. Für Service oder Garantieangelegenheiten wenden Sie sich bitte an die in separaten Service oder Garantiedokumenten angegebenen Adressen.

RoHS 指令（欧州環境規制）に対応済

INFORMATION

For the customers in the U.S.A.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experience radio/TV technician for help.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

If you have any questions about this product, please contact Sony Support Center written in the warranty card.

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model No.:	LIB-D81
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16530 Via Esprillo San Diego, CA. 92127 U.S.A.
Telephone No.:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置の定格は、装置背面に記載しております。
また、各規格の認定マークは、装置底面に記載しております。

Ratings are indicated on the rear, while regulatory agency marks are separately affixed on the bottom.

이 기기는 가정용으로 전자파 적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

기기의 명칭（모델명）：LIB-D81
인증받은자의 상호：SONY KOREA CORP.
제조년월일：별도표시
제조자／제조국가 SONY CORPORATION/JAPAN

目次

第１章　はじめに

第２章　設置する

第３章　基本的な使いかた

第４章　ローダーを操作する

第５章　AIT ドライブをクリーニングする

その他

商標について

はじめに 第 1 章

機能概要

LIB-D81 は、AIT ドライブを 1 台内蔵しているデスクトップサイズの AIT オートローダー（以降「ローダー」と記載します）です。最大 8 巻のカートリッジをセットして使用できます。本機は、ワークステーションやサーバーに接続して利用できます。

最大 8 巻のカートリッジをセット可能

最大 8 巻の AIT（Advanced Intelligent Tape）カートリッジをセットできます。カートリッジの交換は、フロントパネルから行うことができます。本機では、次のカートリッジを使用できます。

- AIT-5 カートリッジ：
  最大 8.32 テラバイト（非圧縮時は 3.2 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-4 カートリッジ：
  最大 4.16 テラバイト（非圧縮時は 1.6 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-3 Ex カートリッジ：
  最大 3.12 テラバイト（非圧縮時は 1.2 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-3 カートリッジ：
  最大 2.08 テラバイト（非圧縮時は 0.8 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-2 Turbo カートリッジ：
  最大 1.66 テラバイト（非圧縮時は 0.64 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-2 カートリッジ：
  最大 1.04 テラバイト（非圧縮時は 0.4 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-1 Turbo カートリッジ：
  最大 0.83 テラバイト（非圧縮時は 0.32 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-1 カートリッジ：
  最大 0.73 テラバイト（非圧縮時は 0.28 テラバイト）のデータを記録できます。
- AIT-E Turbo カートリッジ：
  最大 0.41 テラバイト（非圧縮時は 0.16 テラバイト）のデータを記録できます。

メモ

- 使用できるカートリッジは、内蔵ドライブの種類によって異なります。
- 上記のデータ記憶容量は、データ圧縮 2.6:1 の場合です。
- 上記以外の組み合わせの場合は、同梱のシートを参照してください。

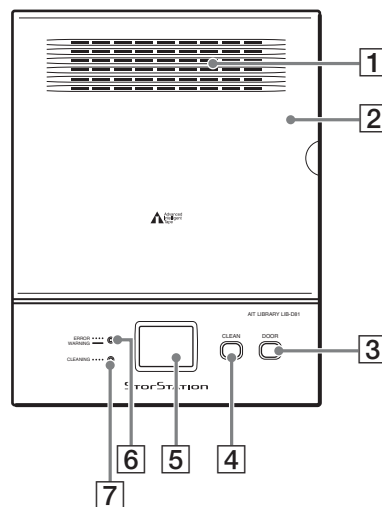
デスクトップで使えるコンパクト設計

本機の大きさは 170 mm × 350 mm × 224 mm で、重さは約 7 kg です。机の上に置いて使えるように、シンプルかつコンパクトに設計されています。

Fast Wide SCSI に準拠

本機のローダ部は、Fast Wide SCSI（LVD/SE）に準拠しています。
ドライブ部は、AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex、AIT-3 または AIT-2 Turbo ドライブ搭載の場合は Ultra 160 SCSI（LVD/SE）に、AIT-2、AIT-1 ドライブ搭載の場合は Wide Ultra SCSI（LVD/SE）に準拠しています。

各部の名称と機能

前面

1 通気孔

通気孔をふさがないように注意してください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

2 フロントドア

カートリッジをセットしたり、交換したりするときに開けます。DOOR ボタンを押すと、ロックが解除されます。フロントドアが開いているときは、本機は動作を開始しませんので、カートリッジをセット / 交換したら、必ずフロントドアをカチッと手ごたえがあるまできちんと閉めてください。フロントドアを閉めると、自動的にロックされます。

3 DOOR ボタン

フロントドアを開けるときに押します。本機の動作中は操作しないでください。

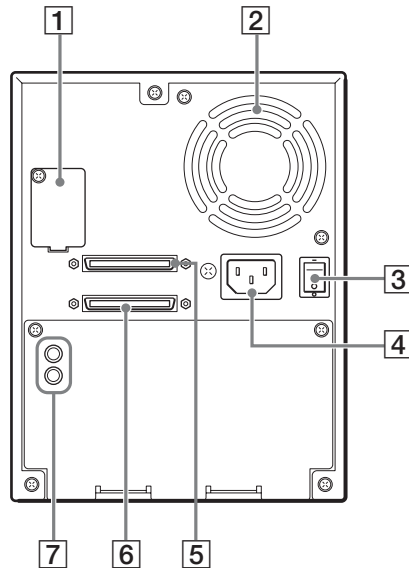
4 CLEAN ボタン

AIT ドライブをクリーニングするときに、クリーニングカートリッジを CL（スロット CL/8）に入れてから、このボタンを 3 秒以上押します。

5 メッセージディスプレイ
動作状況などを表示します。通常待機時は、本機にセットされているカートリッジの巻数が表示されます。

6 ERROR/WARNING LED
エラーが発生したり、特定の操作が必要なときにオレンジ色に点灯します。このLED が点灯（▬▬）したときは、WARNING を示し、点滅（● ● ● ●）したときは ERROR を示します。このとき 2 桁のコードがメッセージディスプレイに表示されます。表示されるコードの意味については、「エラーコード一覧」（51 ページ)、「その他の表示」（55 ページ)、または付属のコード早見表を参照してください。

7 CLEANING LED
AIT ドライブのクリーニングが必要なときに緑色に点滅します。AIT ドライブのクリーニングについては、「AIT ドライブをクリーニングする」（39 ページ）を参照してください。

背面

1 設定用ディップスイッチ / ディップスイッチカバー
本機の動作を設定するときに使います。ネジを外すと、ディップスイッチカバーが取り外せます。詳細は、「ディップスイッチの設定をする」（18 ページ）を参照してください。

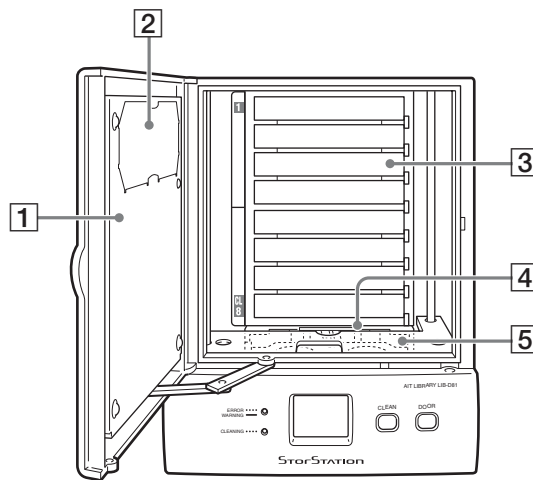
2 通風孔
通風孔をふさがないように注意してください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

3 電源スイッチ
電源を入れる / 切るときは、このスイッチを押します。再度電源を入れるときは、10 秒間待ってから電源を入れてください。

4 **電源コネクター**
付属の電源ケーブルを接続します。

5 **SCSI コネクター 1**　6 **SCSI コネクター 2**
SCSI コネクターの接続については、第 2 章「設置する」の「ホストコンピューターに接続する」（16 ページ）、「SCSI 周辺機器を接続する」（21 ページ）を参照してください。

7 **SCSI ID 設定用スイッチ**
SCSI ID を設定するときに使用します。詳細は、「SCSI ID を設定する」（20 ページ）を参照してください。

内部（前面）

1 **フロントドア**

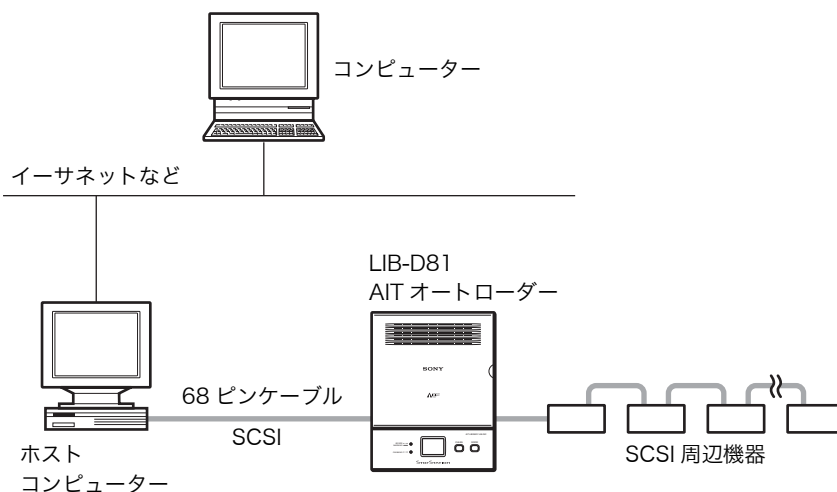
2 **エアーフィルター**
定期的にエアーフィルターのごみやほこりを掃除機で吸って掃除してください。1 か月に 1 回掃除することをお勧めします。清掃方法は、「その他」の「エアーフィルターを清掃する」（44 ページ）を参照してください。

3 **カートリッジケース**
最大 8 巻のカートリッジをセットできます。スロット番号は、最上段から順に 1 ～ 8 に割り振られています。クリーニングカートリッジを使用する場合は、スロット CL/8（最下段スロット）にセットしてください。

4 **AIT ドライブ**
1 台内蔵されています。

5 **ハンド**
カートリッジをスロットから AIT ドライブに運んだり、スロットに戻したりします。本機の電源を入れると、ハンドが上下に移動して、本機にセットされているカートリッジの巻数をカウントし、メッセージディスプレイに表示します。

システム構成

通常は、AIT ドライブの性能を最大限に引き出すために、インターフェースとして Ultra 160 SCSI（LVD/SE）を採用しているホストコンピューターに接続することを推奨します。ホストコンピューターから本機をコントロールします。

メモ
ホストコンピューターには、SCSI ホストバスアダプターカードが取り付けられている必要があります。

使用できるデータカートリッジ

本機で使用できる AIT カートリッジは、以下のとおりです。

AIT カートリッジ

本機では、最適な転送レートと記憶容量を実現するために、セットされている AIT ドライブに適したカートリッジをお使いください。それぞれの記憶容量については、「その他」の「主な仕様」（48 ページ）を参照してください。
各 AIT ドライブで使用できるカートリッジは、以下のとおりです。

メモ
下記以外の組み合わせの場合は、同梱のシートを参照してください。

AIT-5 ドライブ

AIT-5 マーク　AIT-4 マーク　AIT-3 Ex マーク　AIT-3 マーク

AIT-4 ドライブ

AIT-4 マーク

AIT-3 Ex マーク

AIT-3 Ex ドライブ

AIT-3 Ex マーク

AIT-3 マーク

AIT-2 Turbo マーク

AIT-2 マーク *

AIT-1 Turbo マーク *

AIT-1 マーク *

AIT-E Turbo マーク *

* Read のみサポート

AIT-3 ドライブ

AIT-3 マーク

AIT-2 マーク

AIT-1 マーク

AIT-2 Turbo ドライブ

AIT-2 Turbo マーク

AIT-2 マーク

AIT-1 Turbo マーク

AIT-1 マーク

AIT-E Turbo マーク

AIT-2 ドライブ

AIT-2 マーク

AIT-1 マーク

AIT-1 ドライブ

AIT-1 マーク

ご注意

市販の 8 mm ビデオテープは、外観は AIT カートリッジと似ていますが、仕様がまったく違うため使用できません。8 mm ビデオテープなど、上記以外のカートリッジを使用しないでください。専用の AIT データカートリッジを使用してください。

クリーニングカートリッジ

AIT ドライブをクリーニングするときは、AIT クリーニングカートリッジを使用してください。クリーニングカートリッジには、AIT-5 用（SDX5-CL)、AIT-4 用（SDX4-CL または SDX4-CLL)、AIT-3 Ex 用（SDX3X-CL)、および AIT-3、2、1 用（SDX1-CL）の 4 種類あります。間違えて使用するとクリーニング効果がありませんので注意してください。クリーニング方法については、第 5 章「AIT ドライブをクリーニングする」の「AIT ドライブをクリーニングする」（39 ページ）を参照してください。

使用できるソフトウェア

本機で使用できるアプリケーションソフトウェアや対応しているオペレーティングシステムについては、お買い上げ店にお問い合わせください。

使用上のご注意

・ 本機には、セットされている AIT ドライブに適したカートリッジを使用してください。AIT カートリッジ以外のカートリッジを使用すると、誤動作の原因となります。本機で使用できるカートリッジは、本章の「使用できるデータカートリッジ」（10 ページ）を参照してください。
・ カートリッジケースのスロットに、AIT カートリッジ以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
・ 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどは、本機の表面や内部に水滴がつくことがあります（これを結露といいます)。結露が起きたときは、本機の電源を切ってそのまま放置し、結露が消えてから使用してください。結露したまま使用すると本機の故障の原因となる場合があります。

設置する 第2章

概要

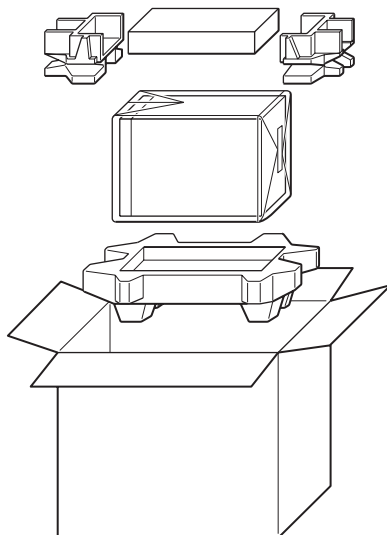
本章では、本機を設置場所に設置し、ホストコンピューターに接続して、電源を入れるまでの一般的な手順と初期設定について説明します。ご使用の環境によっては、手順や設定が異なる場合があります。

開梱する

メモ

箱と梱包材は、本機を移動したり輸送したりするときに必要です。捨てないで必ず保管してください。

1 箱に記載されている手順に従って、本機を箱から取り出す。

ビニールやテープなどの梱包材も取り除いてください。

同梱品を確認する

箱を開けたら、以下のものがそろっているかお確かめください。付属品の中に欠けているものがあるときは、お買い上げ店にご連絡ください。

- LIB-D81 本体（1）
- 電源ケーブル（1）
- SCSI ターミネーター（1）
- クリーニングカートリッジ（1）
- クイックスタートガイド（1）
- 保証書（1）

メモ

上記以外に、説明書や書類などが同梱されている場合があります。

ホストコンピューターの準備をする

設置を行う前に、ホストコンピューターの準備をします。

1. 本機に接続するホストコンピューターに、SCSI ホストバスアダプターカードが取り付けられているか確認する。

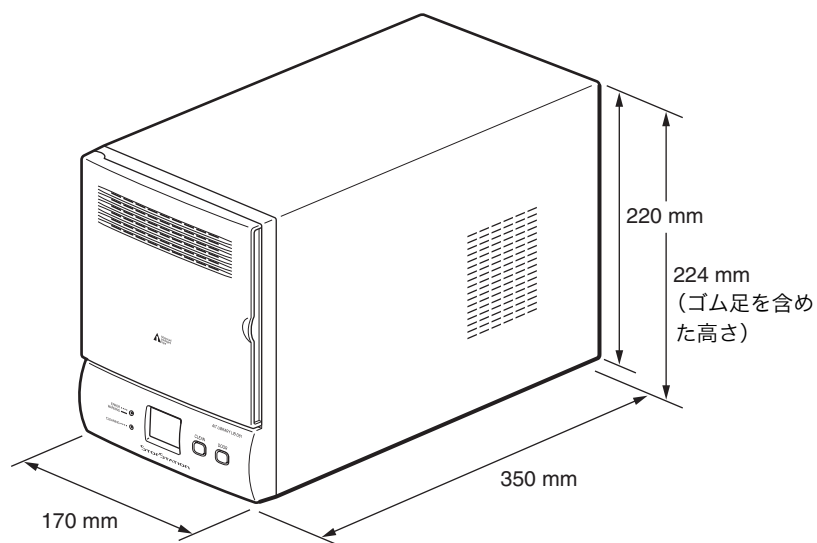
2. 本機に対応しているアプリケーションソフトウェアを、ホストコンピューターにインストールする。

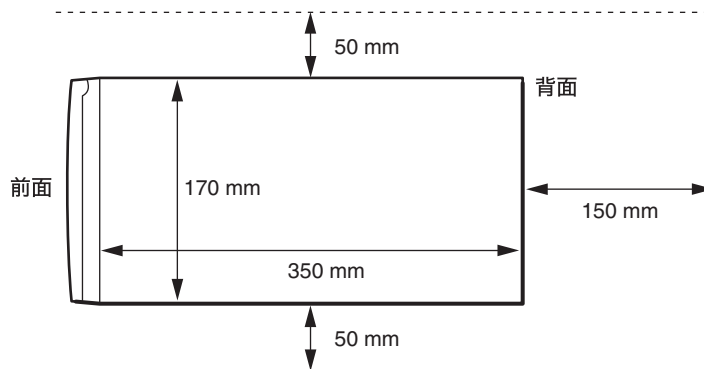
   本機で使用できるアプリケーションソフトウェアやオペレーティングシステムについては、お買い上げ店にお問い合わせください。

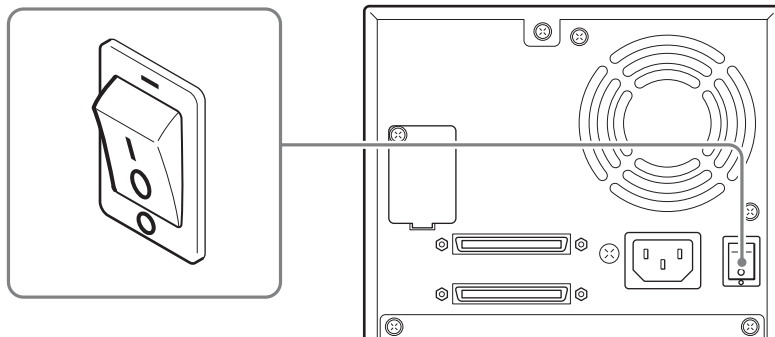
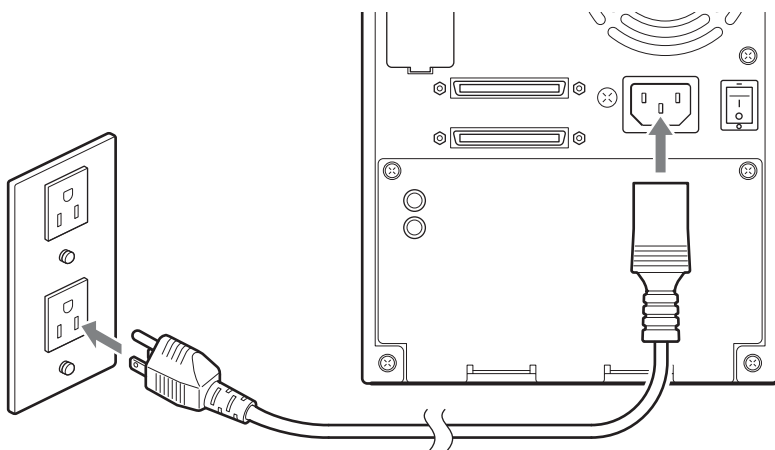
本機を設置する

本機の質量は約 7 kg で、大きさは以下のとおりです。あらかじめ設置場所の強度とスペースを十分確認してから、設置してください。

メモ

コンセントに近く、水平な場所に設置してください。また、本機の後部には空気が循環するように 150 mm 以上のスペースを空けてください。

ご注意

本機は、必ず図の向き（縦置き）で使用してください。横置きで使用した場合の動作は保証しておりません。

電源ケーブルを接続する

1 本機背面の電源スイッチがオフになっている（○ が記載されている側が押されている）ことを確認する。

2 電源ケーブルの一方を本機の電源コネクターに接続し、もう一方をコンセントに接続する。

ホストコンピューターに接続する

SCSI ケーブルで、本機とホストコンピューターを接続します。ここでは、一般的な接続手順を説明します。接続には、市販の LVD 対応 Wide Ultra2 SCSI ケーブルをお使いください。ただし、AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex、AIT-3、および AIT-2 Turbo ドライブ搭載モデルの場合は、Ultra 160 SCSI LVD ケーブルをお使いください。本機側は 68 ピンハーフピッチのコネクターを使用しています。

他の SCSI 機器も接続するときは、「SCSI 周辺機器を接続する」（21 ページ）を参照してください。

ご注意

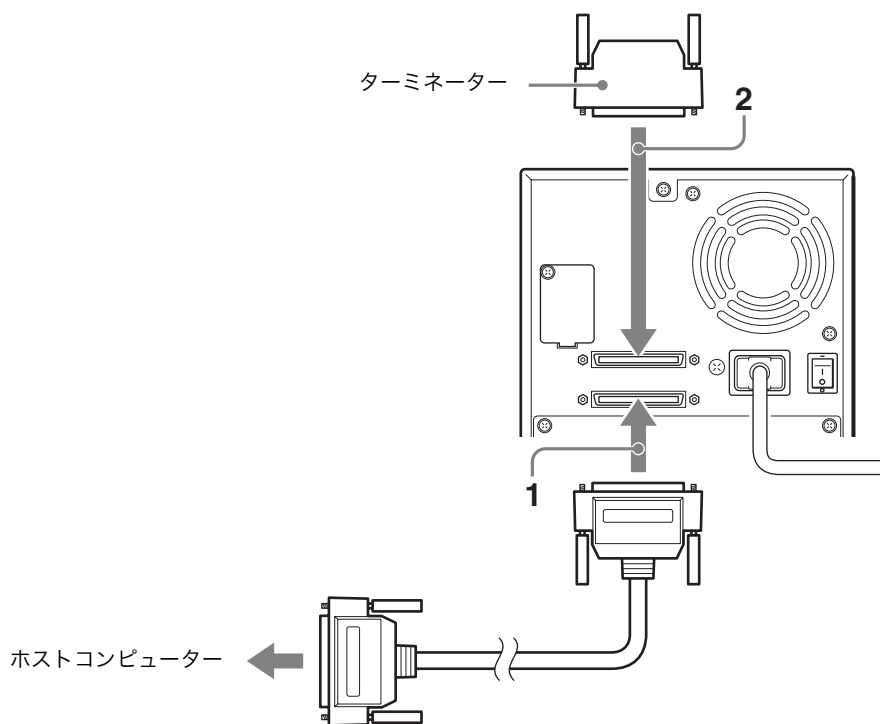
- 本機を HVD（High Voltage Differential）SCSI バスに接続しないでください。接続すると、本機または SCSI バス上の他のデバイスが故障する恐れがあります。
- Wide SCSI ケーブルを接続するときは、本機、ホストコンピューターおよびすべての接続機器の電源を切ってください。
- 本機を Wide SCSI の終端に接続する場合は、必ず付属のターミネーターを取り付けてください。
- LVD（Low Voltage Differential）SCSI では、ホストコンピューターと SCSI バス上の最後の機器とをつなぐ SCSI ケーブルの全長（内部および外部ケーブルのすべての長さを含む）が、12 m 未満になるようにしてください。本機の内部ケーブルの長さは 0.75 m です。
- 分岐はできません。

メモ

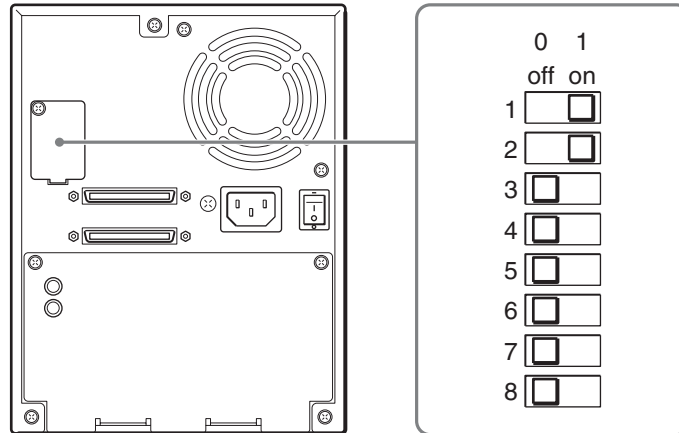
- SCSI バスについては、「その他」の「SCSI の構成について」（50 ページ）を参照してください。
- あらかじめ必要な SCSI ケーブルを用意しておいてください。SCSI ケーブルの仕様については、「その他」の「SCSI ケーブル、ターミネーター仕様」（50 ページ）を参照してください。

1 ホストコンピュータと本機の電源が切られていることを確認する。

2 図のようにして、SCSI ケーブルとターミネーターを取り付ける。

1. 市販の SCSI ケーブルを使って、本機とホストコンピュータを接続します。SCSI ケーブルは、次の図のように接続します。
2. 次の図のように、コネクターに、付属のターミネーターを取り付けます。

ディップスイッチの設定をする

本機背面の設定用ディップスイッチで、以下の設定ができます。

・ SCSI ターミネーターへの電源供給（工場出荷時：オン）
　複数の SCSI 機器を接続しているときに、SCSI ターミネーターに電源を供給するかどうかを設定できます。
・ 特定部品の動作回数や動作時間が規定値に達したときの警告表示（工場出荷時：オン）
　特定部品の動作回数が規定回数に達したときおよびクリーニング時期（1 週間）の警告を表示するかどうかを設定できます。
・ ローダーの動作（ローダーオプション機能）（工場出荷時：オフ）
　ローダー側が定期的に AIT ドライブの状態を監視し、自動的にカートリッジの取り出し / セットを行うように設定できます。

工場出荷時では、次のように設定されています。

DIP SW (DEFAULT)

	0 off	1 on	
1		□	TERM PWR
2		□	MAINTENANCE
3	□		LOADER SEL
4	□		├ CONTINUOUS
5	□		└ AUTOLOAD
6	□		RMIC
7	□		RESERVED
8	□		RESERVED

スイッチの位置は、「0」がオフで、「1」がオンです。

1 TERM PWR：オン
　0：SCSI ターミネーターへの電源供給を行いません。
　1：SCSI ターミネーターへの電源供給を行います。

2 MAINTENANCE：オン

0：特定部品の動作回数が規定回数に達したときおよびクリーニング時期（1週間）の警告表示を行いません。

1：特定部品の動作回数が規定回数に達したときおよびクリーニング時期（1週間）の警告表示を行います。

3 LOADER SEL：オフ

0：ローダーオプション機能を無効にします。

1：ローダーオプション機能を有効にします。

本設定を有効にすると、ローダー側が定期的に AIT ドライブの状態を監視し、自動的に次のような動作を行います。

- カートリッジがアンロードされた場合は、カートリッジを取り出して元のスロットに戻し、次のスロットからカートリッジを取り出して AIT ドライブにセットします。
- クリーニングカートリッジが AIT ドライブにセットされている場合は、クリーニングが完了すると、クリーニングカートリッジを取り出して元のスロットに戻し、次のスロットからカートリッジを取り出して AIT ドライブにセットします。
- カートリッジが最終スロット（一番大きい番号のスロット）に戻されると、自動セット動作は終了します。

4 CONTINUOUS：オフ

0：ローダーオプション機能の Continuous モードを無効にします。

1：ローダーオプション機能の Continuous モードを有効にします。

- 本設定は、ローダーオプション機能が有効に設定されている場合にのみ有効です。本設定を有効にすると、ローダーオプション機能によってカートリッジが最終スロット（一番大きい番号のスロット）に戻されたときは、一番若い番号のスロットに戻り、自動セット動作を継続します。
- 最終スロット（一番大きい番号のスロット）にクリーニングカートリッジをセットすると、クリーニング後に Continuous 機能は終了します。

5 AUTOLOAD：オフ

0：ローダーオプション機能の Auto-Load モードを無効にします。

1：ローダーオプション機能の Auto-Load モードを有効にします。

本設定は、ローダーオプション機能が有効に設定されている場合にのみ有効です。本設定を有効にすると、ローダーオプション機能のスタート方法を変更できます。本機の電源を入れたとき、および本機の扉を閉じたときに、一番若い番号のスロットから自動セット動作を行います。

6 RMIC：オフ

RMIC 機能には対応していません。

7 RESERVED：オフ

拡張用です。必ずオフの設定のままお使いください。

8 RESERVED：オフ

拡張用です。必ずオフの設定のままお使いください。

ディップスイッチのオン／オフを切り替えるときの注意

必ず以下の手順に従って、ディップスイッチを切り替えてください。

1 本機背面の電源スイッチがオフになっている（○ が記載されている側が押されている）ことを確認する。

2 精密ドライバーなどの細いものを使って、ディップスイッチのオン / オフを切り替える。

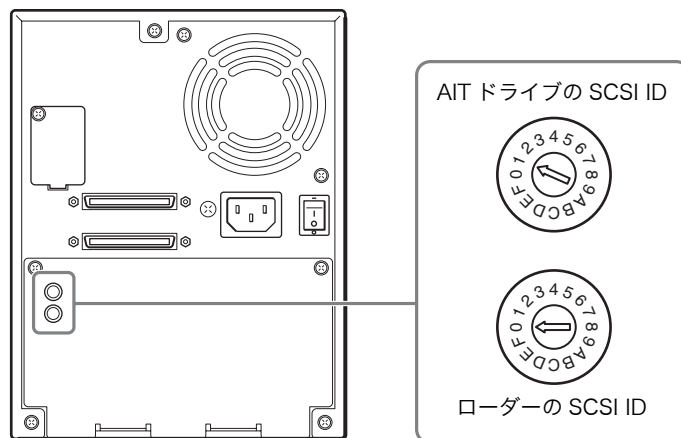
3 電源スイッチを押して、電源を入れる。

メモ

- SCSI ID の設定を変更したり、SCSI 周辺機器を接続する場合は、ここでは電源を入れないで、「SCSI ID を設定する」（20 ページ）、「SCSI 周辺機器を接続する」（21 ページ）にお進みください。
- 「1 TERM PWR」以外のディップスイッチは、本機の電源を入れた後に切り替えても動作に反映されません。

SCSI ID を設定する

本機背面の SCSI ID 設定用スイッチで、AIT ドライブやローダーの SCSI ID を設定します。

工場出荷時では、次のように設定されています。
上段が AIT ドライブの SCSI ID で、下段がローダーの SCSI ID です。

ご注意

- 重複する SCSI ID を設定しないでください。
- 本設定は、必ず電源を入れる前に行ってください。

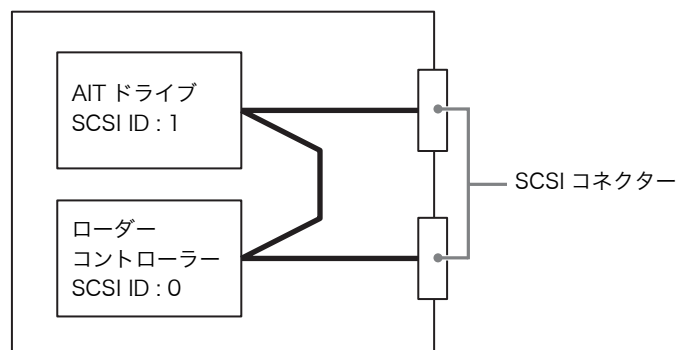
1 本機背面の電源スイッチがオフになっている（○ の記載がある側が押されている）ことを確認する。

2 精密ドライバーなどの細いものを使って、SCSI ID 設定用スイッチのダイヤルを回し、設定したい番号に矢印の先を合わせる。

3 電源スイッチを押して、電源を入れる。

SCSI 周辺機器を接続する場合は、ここでは電源を入れないで、「SCSI 周辺機器を接続する」（21 ページ）にお進みください。

SCSI 周辺機器を接続する

本機の SCSI コネクターに、SCSI 周辺機器を接続することができます。
本機の SCSI は、次のように構成されています。ご使用の環境に合わせて、正しく接続してください。

メモ

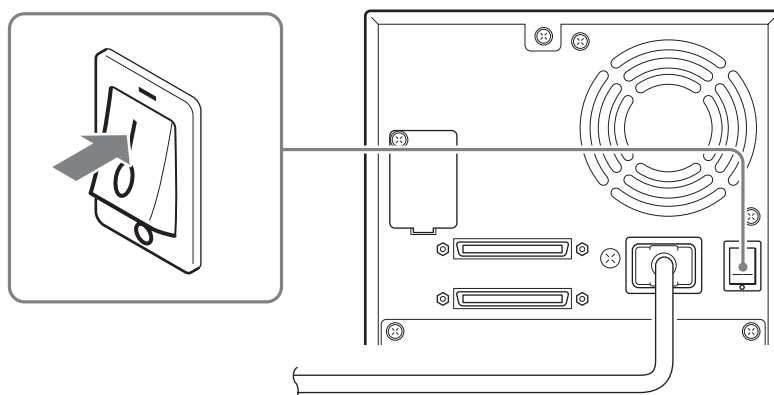
・工場出荷時の SCSI ID の設定は、次のとおりです。
- AIT ドライブ：　1
- ローダー：　0

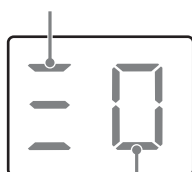
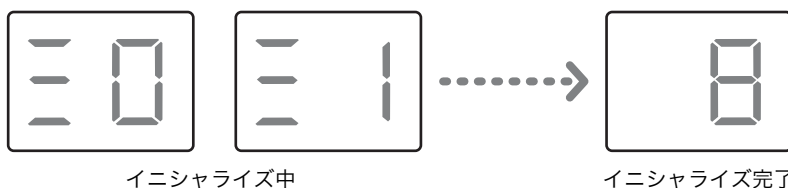
・重複する SCSI ID を設定しないでください。
・周辺機器を接続してから、本機やホストコンピューターの電源を入れてください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機の電源を入れてから、ホストコンピューターの電源を入れます。

1 本機背面の電源スイッチ（| の記載がある側）を押す。

メッセージディスプレイに次のように表示され、起動処理が始まります。(起動するまで、数分かかります。)

イニシャライズ中は次のように表示されます。

イニシャライズが終了すると、本機にセットされているカートリッジの巻数が表示されます。

2 本機の電源を入れた後 10 秒以上待ってから、ホストコンピューターの電源を入れる。

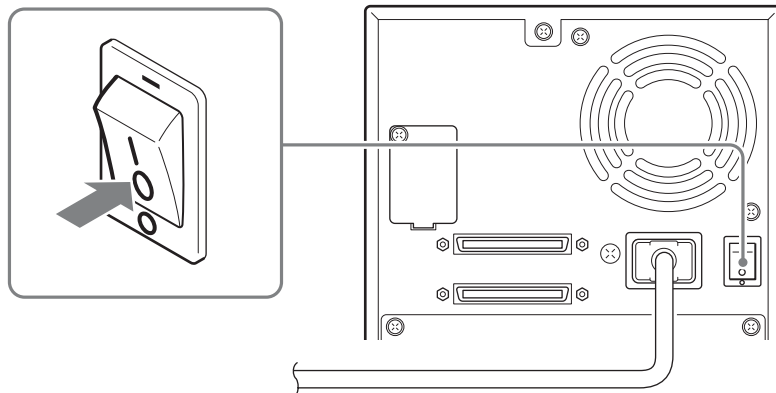
メモ

- 本機より先にホストコンピューターが立ち上がると、SCSI ID が正しく認識されません。必ず、本機の電源を入れてから、ホストコンピューターの電源を入れてください。
- 上記のように動作しないときは、「その他」の「故障かな?と思ったら」(45 ページ)を参照してください。

電源を切る

背面の電源スイッチで、電源を切ります。

ご注意

本機が動作しているとき、または AIT ドライブにカートリッジが入っているときは、絶対に電源を切らないでください。データが破損する原因となります。

メモ

再度電源を入れるときは、10 秒間待ってから電源を入れてください。

カートリッジをセットする

カートリッジの準備をして、本機にカートリッジをセットします。

カートリッジを準備する

誤消去防止用ツメを確認して、カートリッジを使用するための準備をします。

カートリッジの誤消去防止用ツメが書き込み可能の状態になっているか確認してください。オレンジ色のタブが見えているときは、書き込み可能になっています。

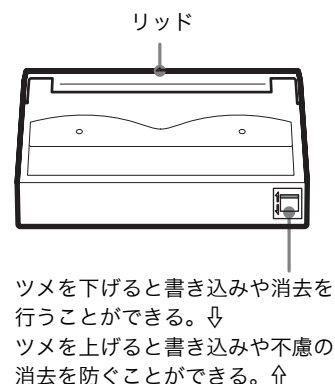
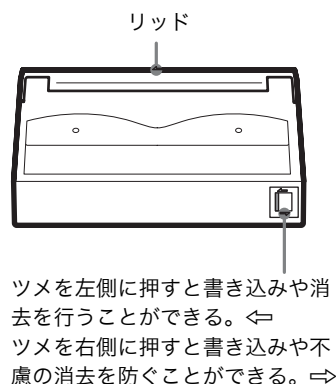
AIT-1

リッド

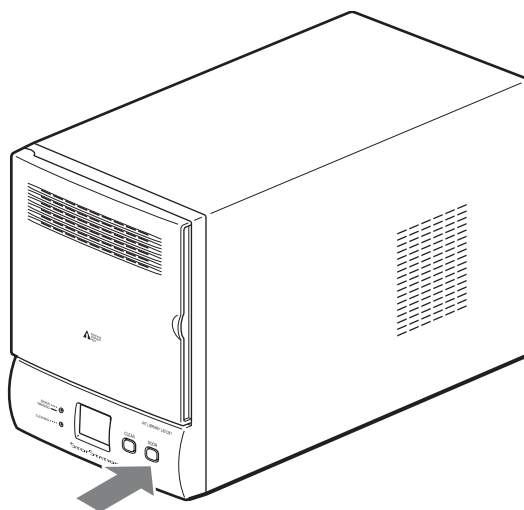
ツメを左側に押すと書き込みや消去を行うことができる。⇦
ツメを右側に押すと書き込みや不慮の消去を防ぐことができる。⇨

AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex、AIT-3、AIT-2 Turbo、AIT-2、AIT-1 Turbo、AIT-E Turbo

リッド

ツメを下げると書き込みや消去を行うことができる。⇩
ツメを上げると書き込みや不慮の消去を防ぐことができる。⇧

カートリッジをセットする

次の手順に従って、カートリッジをローダーにセットします。

1 本機前面の DOOR ボタンを押す。

メッセージディスプレイに［o P］と点滅表示されます。
このとき、本機ではフロントドアを開くために準備が行われています。点滅表示が点灯表示に変わるまでお待ちください。（数秒から 1 分くらいで点灯に変わります。）

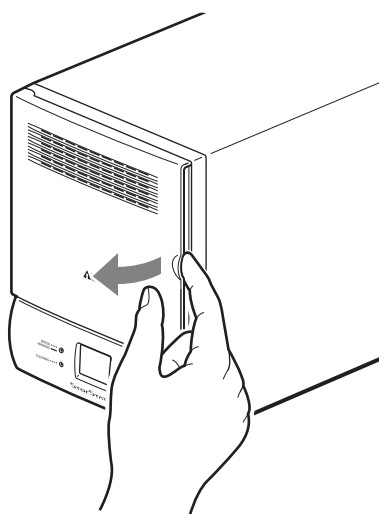
点滅表示が点灯表示に変わると、フロントドアのロックが解除されます。

メモ

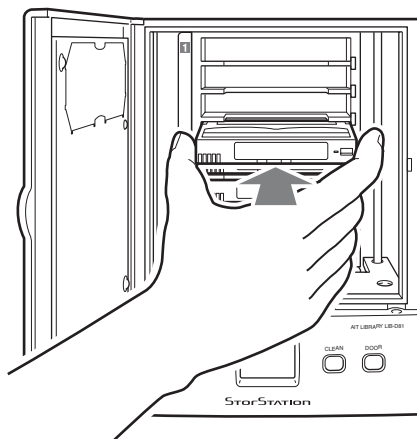
本機の動作中はフロントドアを開けることができないように、フロントドアを閉めると、自動的にロックされます。ロックを解除しないで無理にフロントドアを開けようとすると、故障の原因となります。

2 点滅表示が点灯表示に変わったことを確認したら、フロントドア側面のくぼみに指をかけて、フロントドアを開ける。

フロントドアが開いているときも、メッセージディスプレイには［o P］と点灯表示されます。

ご注意

- ホストコンピューターからのコマンドにより、フロントドアを開けることが禁止されている場合があります。その場合は、DOOR ボタンを押している間は ERROR/WARNING LED が点灯し、メッセージディスプレイには、フロントドアが開けられないことを示す［0 5］が表示されます。
- ［o P］が点灯表示しているときに、フロントドアを３分間開けないで放置した場合は、自動的にフロントドアがロックされ、通常時の表示に戻ります。

3 カートリッジをセットする。

カートリッジの方向に注意して、「カチッ」という手ごたえがあるまで、きちんと入れてください。
スロットの番号は、上から順に１〜８となります。（スロット番号は、SCSI 上のエレメントアドレスと同じになります。）

ご注意

本機の内部には、さまざまな電子回路や機械部品があります。本機内部のスロット以外の部分に触れると、思わぬけがや故障の原因となる恐れがあります。絶対にスロット以外の部分には触れないでください。

4 フロントドアを閉める。

「カチッ」という手ごたえがあるまで、きちんと閉めてください。
フロントドアが完全に閉まると、スロットにセットされたカートリッジをカウントする動作が開始され、メッセージディスプレイにカウントアップの情報が表示されます。

ご注意

- カートリッジがスロットから飛び出している場合など、きちんとセットされていない場合は、ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイにエラーを示す［0 1］が表示されます。（このとき、フロントドアのロックは再び解除されます。）その場合は、いったんフロントドアを開け、カートリッジを正しく入れ直してから、フロントドアを閉めてください。
- 使い切ったクリーニングカートリッジがドライブにセットされている場合は、ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイにエラーを示す［1 0］が表示されます。（このとき、フロントドアのロックは再び解除されます。）その場合は、いったんフロントドアを開け、新しいクリーニングカートリッジを入れ直してから、フロントドアを閉めてください。
- クリーニングに失敗した場合は、ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイにエラーを示す［1 1］が表示されます。（このとき、フロントドアのロックは再び解除されます。）その場合は、いったんフロントドアを開け、クリーニングカートリッジを正しく入れ直してから、フロントドアを閉めてください。
- メッセージディスプレイに「o P」の文字が表示されているとき以外は、フロントドアを開けないでください。故障の原因となる場合があります。万一フロントドアが閉まらなくなった場合は、「その他」の「故障かな？と思ったら」の「フロントドアが閉まらない」（47 ページ）を参照してください。

アプリケーションソフトウェアを設定する

本機で使用するアプリケーションソフトウェアの説明書に従って、ホストコンピューターで、ローダーに関する設定を行います。詳しくは、アプリケーションソフトウェアの説明書を参照してください。

基本的な使いかた　第3章

概要

操作パネルの使いかたや本機の基本的な設定、カートリッジの取り扱い、エレメントアドレスの割り当て、日常のメンテナンスなどについて説明します。

操作パネルの使いかた

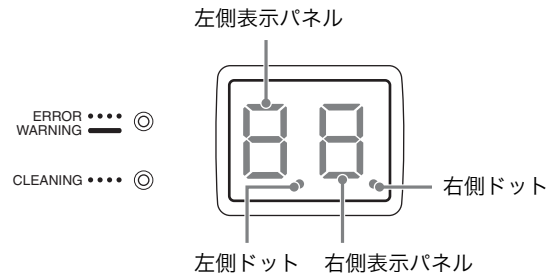
操作パネルを使って、本機の各種情報の表示や AIT ドライブのクリーニングなどを行うことができます。
ここでは、操作パネルでできることやメッセージディスプレイの見かたなどについて説明します。

操作パネルでできること

操作パネルを使って、以下のことができます。
・ 本機に関する情報の表示
・ AIT ドライブのクリーニング
・ 特殊な操作（ディザスターリカバリー）

メモ
ディザスターリカバリーとは、ホストコンピューターのシステム全体をカートリッジにバックアップし、万一のときには、バックアップデータを使ってホストコンピューターのシステムを復旧させる機能です。

メッセージディスプレイの見かた

メッセージディスプレイには、本機にセットされているカートリッジの巻数、本機の動作状況、オペレーターへの警告、エラーコードなどが表示されます。

通常時の表示

・左側表示パネルには、ローダー部の動作が表示されます。
・右側表示パネルには、本機にセットされているカートリッジの巻数が表示されます。
・AIT ドライブにカートリッジがセットされているときは、右側ドットが点灯します。
・以下のようなときは左側ドットが点灯します。
  - カートリッジをスロットに挿入しているとき、または取り出しているとき。
  - カートリッジを AIT ドライブに挿入しているとき、または取り出しているとき。

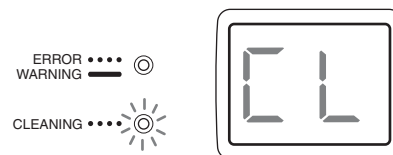
オペレーターの操作時、オペレーターへの操作要求、エラー発生時

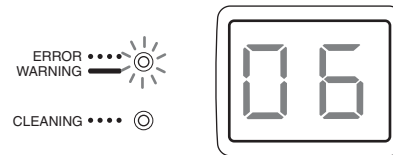
2 桁のコードが表示されます。コードの詳細については、「その他」の「エラーコード一覧」（51 ページ）、「その他の表示」（55 ページ）を参照してください。

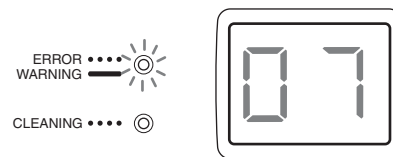
警告 / 操作要求表示

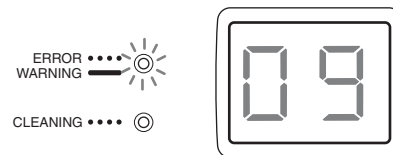
AIT ドライブのクリーニングが必要なときや特定部品の定期交換時期がきたときなどに、本機前面の LED が点灯し、メッセージディスプレイに警告を示すコードが表示されます。

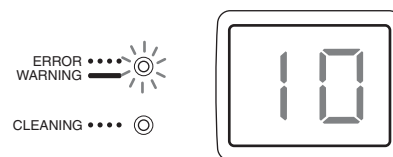
クリーニングが必要なとき

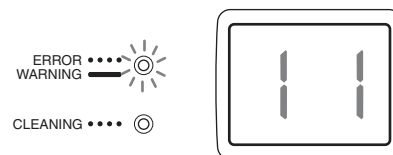
CLEANING LED が緑色に点滅し、メッセージディスプレイに［C L］と点滅表示されます。デフォルトの設定では、一定時間ごとに、クリーニングの時期をお知らせします。

本機内部の温度が上昇したとき

ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイに［0 6］と点灯表示されます。内部温度が下がるまで、動作を中断するか、室温を下げるようにしてください。温度が下がると、ERROR/WARNING LED が消えます。ほこりなどによりエアーフィルターが目詰まりしている場合もあります。「日常のメンテナンス」（34 ページ）もあわせて参照してください。

特定部品の動作回数が規定回数に達したとき

ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイに［0 7］と点灯表示されます。サービス・サポート窓口までご連絡ください。

機器内部の温度が動作保証範囲以下になったとき

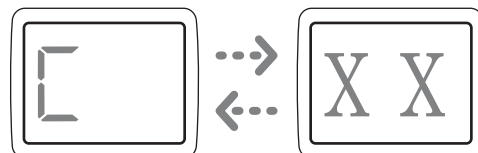
室温が動作範囲内（5 〜 40 ℃）であるか確認してください。

クリーニングカートリッジを使い切ったとき

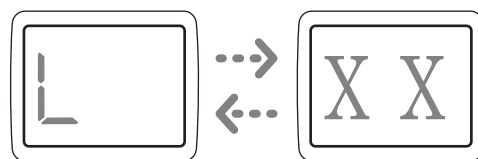
新しいクリーニングカートリッジと交換し、再度クリーニングを行ってください。

クリーニングに失敗したとき

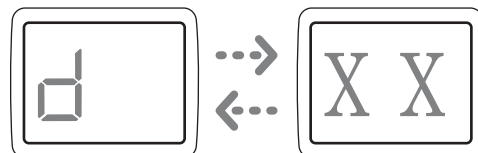
再度クリーニングを行ってください。

エラー表示

本機にエラーが発生すると、ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点滅し、メッセージディスプレイにエラーコードが次のように表示されます。エラーコードについては、「その他」の「エラーコード一覧」（51 ページ）を参照してください。

（例）カートリッジの異常を検出したとき

［C ］と［X X］（XX はエラーコード）が交互に表示されます。

（例）ローダー部の異常を検出したとき

［L ］と［X X］（XX はエラーコード）が交互に表示されます。

（例）ドライブ部の異常を検出したとき

［d ］と［X X］（XX はエラーコード）が交互に表示されます。

メモ

・本取扱説明書では、ローダー部に関するエラーコードのみ記載しています。
・ドライブのエラーコードについては、ドライブの取扱説明書に記載しています。

ディザスターリカバリー機能について

ディザスターリカバリー（Disaster Recovery）とは、ホストコンピューターのシステム全体をカートリッジにバックアップし、万一のときに、バックアップデータを使ってホストコンピューターのシステムを復旧させる機能です。
本機では、ホストコンピューター側のアプリケーションソフトウェアと協調して、ディザスターリカバリー機能を実行できます。

ホストコンピューター側の操作や設定については、ホストコンピューターおよびアプリケーションソフトウェアの説明書を参照してください。

ご注意

・ AIT-1 ドライブをお使いの場合は、この機能はサポートしていません。
・ ご使用の環境によっては、この機能が動作しない場合があります。

1 ディザスターリカバリーの準備をする。

1 ホストコンピューターで、DR テープ（ディザスターリカバリーテープ）を作成する。

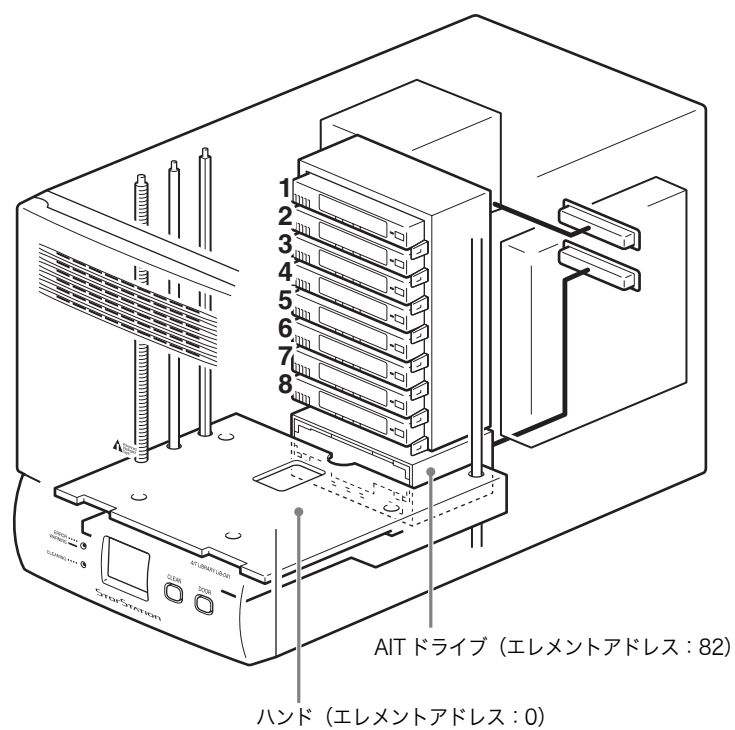
2 Disaster Recovery を起動する。

1 作成した DR テープを本機のスロット 1 にセットする。
2 本機前面のCLEANボタンとDOORボタンを同時に５秒以上押して、本機をDisaster Recovery モードにする。
本機が Disaster Recovery モードになると、メッセージディスプレイに［d r］が点滅表示されます。
3 いったん本機の電源を切り、10 秒間待ってから再度電源を入れる。
リカバリー動作が開始され、AIT ドライブに DR テープが自動的にセットされます。このあとは、お使いのホストコンピューターおよびアプリケーションソフトウェアの説明書を参照し、リカバリー操作を行ってください。

エレメントアドレスの割り当てについて

カートリッジを収納できる物理的位置のことをエレメントといいます。アプリケーションは、エレメントアドレスを使用して、本機のエレメントを識別します。本機では、以下のようにカートリッジスロットと AIT ドライブにエレメントアドレスが割り当てられています。

メモ

本機のエレメントアドレスは、固定番号になっていますので、変更することはできません。

カートリッジの取り扱いについて

カートリッジを取り扱うときや保管するときは、以下のことに注意してください。

取り扱い上のご注意

・カートリッジに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
・カートリッジが本機にセットされると、自動的にリッドが開くようになっています。カートリッジのリッドを手で開けて、中のテープに触れないでください。
・カートリッジは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
・カートリッジのツメは、不要なデータを誤って書き込まないためのものです。書き込みの必要のないカートリッジは、書き込みできない状態にしておいてください。→第２章「設置する」の「カートリッジを準備する」（23 ページ）を参照してください。
・温度差の激しい場所や湿気の多いところでは、結露により、書き込み、読み取りができなくなることがあります。
・書き込み、読み取りの必要がないときは、不必要にカートリッジを本機に出し入れしないでください。

保管上のご注意

・適切な環境でカートリッジを保管してください。
カートリッジのパッケージに記載されている保管温度、その他の周囲条件に従って保管してください。また、保管中に温度や湿度が変化しないようにしてください。直射日光の当たるところ、暖房機の近く、湿気の多いところには保管しないでください。自動車のダッシュボードやトレーには絶対に置かないでください。
・ほこりやちりの少ない場所に保管してください。
ほこりやちりの発生する原因を取り除いてください。保管場所近くで喫煙、飲食をしないでください。また、トナーや紙粉を排出する恐れのあるコピーやプリンターの近くにカートリッジを保管しないでください。
・カートリッジを保管するときは、誤消去防止用ツメを書き込み不可の位置にしてください。
・本機からカートリッジを取り出したときは、できるだけ早く適切な場所に保管してください。
温度や湿度の変化、ほこりやちりによる汚損、手指などに触れることによるテープの損傷をできるだけ防ぐようにしてください。

日常のメンテナンス

定期的に、次のことを行ってください。

・エアーフィルターの掃除
　フロントパネルのエアーフィルターにほこりやちりが詰まると、内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。定期的にエアーフィルターを掃除機で吸って掃除してください。1 か月に 1 回、掃除することをお勧めします。エアーフィルターの取り外しかたは、「その他」の「エアーフィルターを清掃する」（44 ページ）を参照してください。
・AIT ドライブのクリーニング
　1 週間に 1 回、AIT ドライブのクリーニングをしてください。
　一定期間ごとに、自動的に CLEANING LED が緑色に点滅し、クリーニングが必要になったことをお知らせします。第 2 章「設置する」の「ディップスイッチの設定をする」（18 ページ）を参照し、本機背面の設定用ディップスイッチの「2 MAINTENANCE」をオフにすると、このお知らせを行わないようにすることができます。本設定は、工場出荷時にはオンに設定されています。

ローダーを操作する　第4章

概要

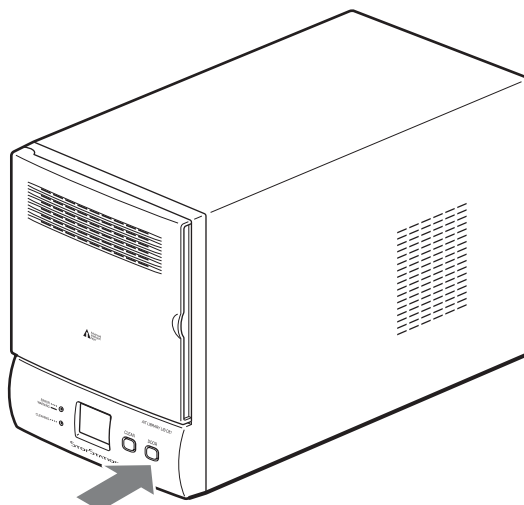
本章では、カートリッジの取り出し / 交換について説明します。

カートリッジを操作する

ここでは、スロットからカートリッジを取り出したり、交換したりする手順について説明します。
カートリッジの準備やセットのしかたについては、第 2 章「設置する」の「カートリッジをセットする」（23 ページ）を参照してください。

スロットのカートリッジを取り出す / 交換する

スロットにセットされているカートリッジを取り出します。

1 本機前面の DOOR ボタンを押す。

メッセージディスプレイに［o P］と点滅表示されます。
このとき、本機ではフロントドアを開くために準備が行われています。点滅表示が点灯表示に変わるまでお待ちください。(数秒から 1 分くらいで点灯に変わります。)

（点滅）　　**（点灯）**

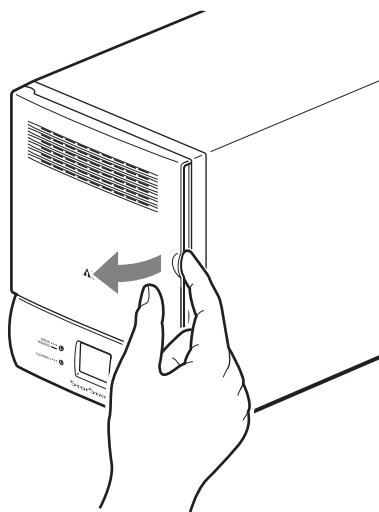
点滅表示が点灯表示に変わると、フロントドアのロックが解除されます。

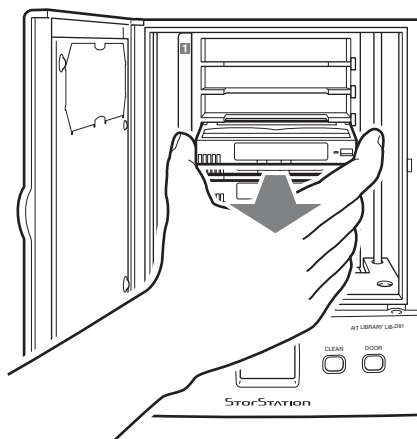
メモ

本機の動作中はフロントドアを開けることができないように、フロントドアを閉めると、自動的にロックされます。ロックを解除しないで無理にフロントドアを開けようとすると、故障の原因となります。

2 点滅表示が点灯表示に変わったことを確認したら、フロントドア側面のくぼみに指をかけて、フロントドアを開ける。

フロントドアが開いているときも、メッセージディスプレイには［o P］と点灯表示されます。

ご注意

・ホストコンピューターからのコマンドにより、フロントドアを開けることが禁止されている場合があります。その場合は、DOOR ボタンを押している間は ERROR/WARNING LED が点灯し、メッセージディスプレイには、フロントドアが開けないことを示す［0 5］が表示されます。
・［o P］が点灯表示しているときに、フロントドアを 3 分間開けないで放置した場合は、自動的にフロントドアがロックされ、通常時の表示に戻ります。

3 図のようにして、カートリッジの両端をつまんで取り出す。

ご注意

本機の内部には、さまざまな電子回路や機械部品があります。本機内部のスロット以外の部分に触れると、思わぬけがや故障の原因となる恐れがあります。絶対にスロット以外の部分には触れないでください。

メモ

取り出したいカートリッジがAITドライブにあるときは、「その他」の「故障かな？と思ったら」の「カートリッジが取り出せない」（46ページ）を参照し、カートリッジを取り出してください。

4 カートリッジを交換したいときは、続けて新しいカートリッジをセットする。

カートリッジの方向に注意して、「カチッ」という手ごたえがあるまで、きちんと入れてください。

5 フロントドアを閉める。

「カチッ」という手ごたえがあるまで、きちんと閉めてください。
フロントドアが完全に閉まると、スロットにセットされたカートリッジをカウントする動作が開始され、メッセージディスプレイにカウントアップの情報が表示されます。

ご注意

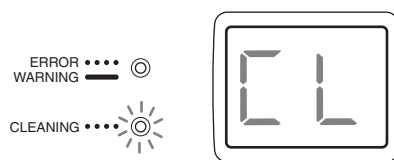
カートリッジがスロットから飛び出している場合など、きちんとセットされていない場合は、ERROR/WARNING LEDがオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイにエラーを示す［0 1］が表示されます。（このとき、フロントドアのロックは再び解除されます。）その場合は、いったんフロントドアを開け、カートリッジを正しく入れ直してから、フロントドアを閉めてください。

AITドライブをクリーニングする 第5章

概要

本章では、AIT ドライブのクリーニングについて説明します。
いつでも快適な状態で操作できるように、本機では 1 週間に 1 回、クリーニングカートリッジによるクリーニングをお勧めします。このため、工場出荷時では、本機背面のディップスイッチの「2 MAINTENANCE」はオンに設定され、一定期間ごとに、クリーニング要求が表示されるようになっています。クリーニング要求が表示されたときは、付属のクリーニングカートリッジをスロット CL/8 にセットし、本機前面の CLEAN ボタンを 3 秒以上押すことで、簡単にクリーニングが行えます。
以降では、常にクリーニングカートリッジを AIT オートローダーにセットしていない場合のクリーニング方法について説明します。
クリーニングカートリッジには、AIT-5 用（SDX5-CL）、AIT-4 用（SDX4-CL または SDX4-CLL）、AIT-3 Ex 用（SDX3X-CL）、AIT-3、2、1 用（SDX1-CL）の 4 種類あります。間違えて使用するとクリーニング効果がありませんので注意してください。

AIT ドライブをクリーニングする

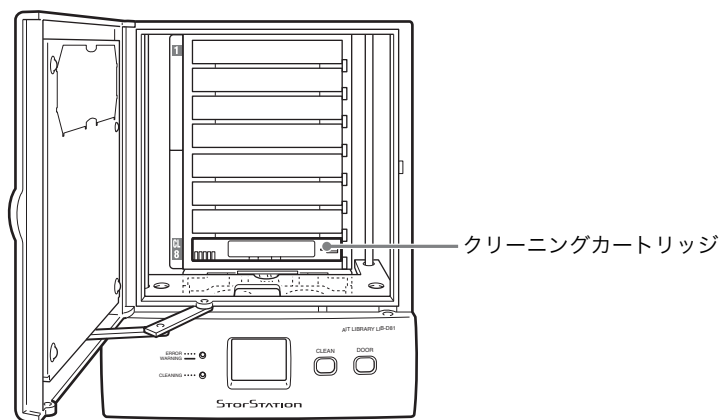
AIT ドライブのクリーニングが必要になると、CLEANING LED が緑色に点滅し、メッセージディスプレイに次のコードが表示されます。

クリーニングは、クリーニングカートリッジを AIT ドライブにセットして行います。クリーニングカートリッジをセットするときは、必ず最下段のスロット CL/8 にセットしてください。

ご注意

・AIT ドライブにカートリッジがセットされている場合にクリーニング動作を行うと、セットされているカートリッジを元のスロットに戻した後で、クリーニングが実行されます。
・本機背面の設定用ディップスイッチの「2 MAINTENANCE」をオフにすると、クリーニングが必要になったことの表示は行いません。工場出荷時の設定では、オンに設定されています。本設定では、前回のクリーニング完了から、一定期間ごとに、クリーニングが必要になったことの表示を行います。詳しくは、第2章「設置する」の「ディップスイッチの設定をする」（18 ページ）を参照してください。

1 クリーニングカートリッジを用意する。

2 DOOR ボタンを押してフロントドアを開け、最下段のスロット CL/8 にクリーニングカートリッジをセットする。

カートリッジのセット方法は、第 2 章「設置する」の「カートリッジをセットする」（23 ページ）を参照してください。

ご注意

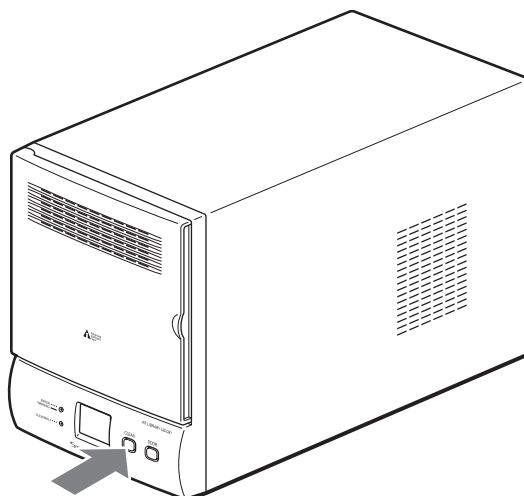
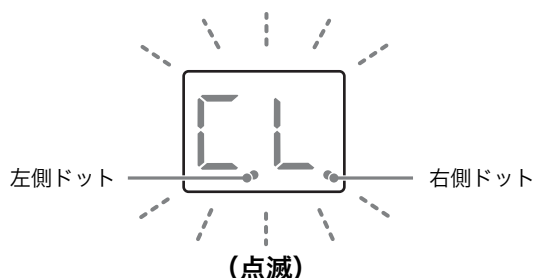
本機の内部には、さまざまな電子回路や機械部品があります。本機内部のスロット以外の部分に触れると、思わぬけがや故障の原因となる恐れがあります。絶対にスロット以外の部分には触れないでください。

3 フロントドアを閉める。

「カチッ」という手ごたえがあるまで、きちんと閉めてください。

ご注意

カートリッジがスロットから飛び出している場合など、きちんとセットされていない場合は、ERROR/WARNING LED がオレンジ色に点灯し、メッセージディスプレイにエラーを示す［0 1］が表示されます。（このとき、フロントドアのロックは再び解除されます。）その場合は、いったんフロントドアを開け、カートリッジを正しく入れ直してから、フロントドアを閉めてください。

4 本機前面の CLEAN ボタンを 3 秒間以上押し続ける。

メッセージディスプレイに［C L］が点滅表示され、クリーニングが開始されます。

右側ドットまたは左側ドットは、以下のようなときに点灯します。

右側ドット
カートリッジを AIT ドライブにセットした状態のとき。

左側ドット
- カートリッジをスロットに挿入しているとき、または取り出しているとき。
- カートリッジを AIT ドライブに挿入しているとき、または取り出しているとき。

クリーニングが正常に終了すると、自動的にクリーニングカートリッジがスロット CL/8 に戻り、CLEANING LED が消灯します。

5 CLEANING LED が消灯していることを確認したら、DOOR ボタンを押してフロントドアを開け、クリーニングカートリッジを取り出す。

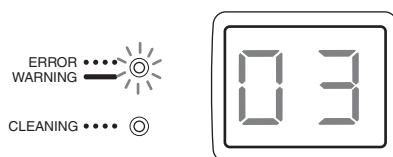
ご注意

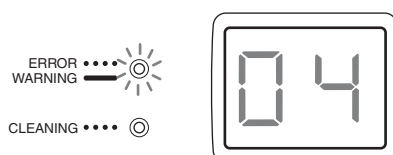
CLEANING LED が消灯しないときは、クリーニングカートリッジのテープを使い切っている可能性があります。その場合は、新しいクリーニングカートリッジに交換し、再度クリーニング操作を行ってください。
クリーニング開始の操作をしたときに、すでに AIT ドライブにカートリッジがセットされていた場合には、ドライブ内のカートリッジを自動的にスロットに戻しクリーニング動作を開始します。
書き込み状態が悪いカートリッジでは、アンロードの処理に時間がかかります。その場合、クリーニング処理に 20 分程度かかる場合があります。

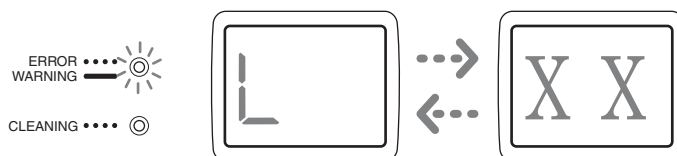
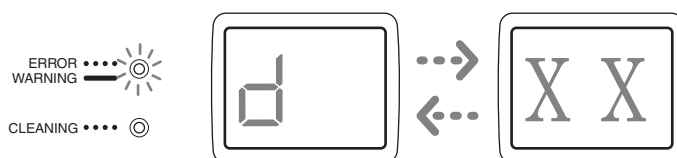
メモ

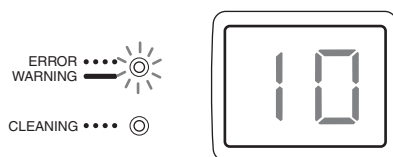
・常にクリーニングカートリッジをスロット CL/8 にセットしておくと、上記の手順 4 を行うだけで簡単にクリーニングが行えます。
・クリーニング動作が正常に実行できなかった場合は、メッセージディスプレイに以下のようなエラーコードが表示されます。

スロット CL/8 にカートリッジがセットされていなかった場合

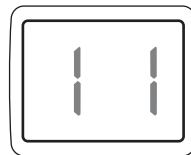
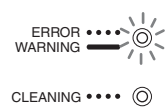
ERROR/WARNING LED が点灯し、メッセージディスプレイに［0 3］と点灯表示されます。

スロット CL/8 にデータカートリッジがセットされていた場合

ERROR/WARNING LED が点灯し、メッセージディスプレイに［0 4］と点灯表示されます。

その他の原因でクリーニング動作に失敗した場合

ERROR/WARNING LED が点滅し、メッセージディスプレイに［L ］または［d ］と［X X］（XX はエラーコード）が交互に点滅表示されます。

または

クリーニングカートリッジを使い切ったとき

新しいクリーニングカートリッジと交換し、再度クリーニングを行ってください。

クリーニングに失敗したとき

再度クリーニングを行ってください。

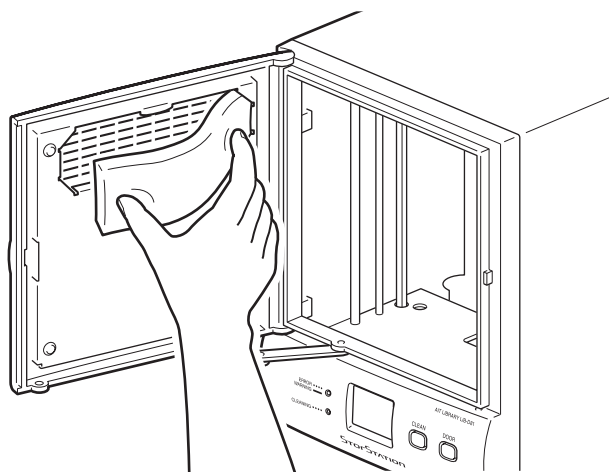
その他

エアーフィルターを清掃する

メモ

1か月に1回、エアーフィルターのごみを掃除機で吸ってきれいにしてください。

1 DOOR ボタンを押して、フロントドアを開ける。

2 本機の電源を切る。

3 エアーフィルターをつまんで取り外す。

ご注意

金属の角で手を傷付けないように注意してください。

4 エアーフィルターのごみを掃除機で吸ってきれいにする。

5 エアーフィルターをセットする。

6 フロントドアを閉める。

7 本機の電源を入れる。

故障かな？と思ったら

サービス・サポート窓口にご相談になる前に下記の項目をもう 1 度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、サービス・サポート窓口にご相談ください。

本機が起動しない

- 電源スイッチがオンになっているか確認してください。
- 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- フロントドアが閉じているか確認してください。
- ターミネーターが正しく接続されているか確認してください。
- 本機とホストコンピューターに SCSI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ホストコンピューターに電源が入っているか確認してください。
- 本機のメッセージディスプレイにエラーコードが表示されていないか確認してください。エラーコードについては、本章の「エラーコード一覧」（51 ページ）を参照してください。
- 電源を入れ直したときは、10 秒間待ってから電源を入れていたか確認してください。

本機とホストコンピューターが通信できない

- ローダー、AIT ドライブ、ホストコンピューターに割り当てた SCSI ID が重複していないか確認してください。1 つの SCSI バスに、重複する SCSI ID を設定することはできません。→ 第 2 章「設置する」の「SCSI ID を設定する」（20 ページ）
- SCSI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。→ 第 2 章「設置する」の「ホストコンピューターに接続する」（16 ページ）
- ホストコンピューターに SCSI ホストバスアダプターカードが正しく取り付けられているか確認してください。
- 接続している SCSI 機器がすべて LVD デバイスであるか確認してください。本機は LVD デバイスです。本機に HVD デバイスを接続しないでください。
- SCSI バス上の機器がすべて Wide SCSI デバイスであるか確認してください。本機は Wide SCSI デバイスです。SCSI バス上のすべてのデバイスが Wide SCSI デバイスであることが必要です。（Wide-Narrow アダプターを使用することもできます。）
- ホストコンピューターと SCSI バス上の最後の機器とをつなぐ SCSI ケーブルの全長が 10 m 未満になるようにしてください。
- SCSI バスが正しく終端されていることを確認してください。→ 本章の「SCSI バスについて」（50 ページ）
- 使用するアプリケーションソフトウェアが本機に対応していることを確認してください。本機で使用できるアプリケーションソフトウェアや対応しているオペレーティングシステムについては、お買い上げ店にお問い合わせください。
- ホストコンピューターにアプリケーションソフトウェアが正しくインストールされ、正しく設定されているか確認してください。
- 本機の電源を入れた後 10 秒以上待ってから、ホストコンピューターの電源を入れたか確認してください。本機の電源を入れてからホストコンピューターの電源を入れるまでの時間が短いと、SCSI デバイスの認識が行われないことがあります。

アプリケーションソフトウェアやローダーは正しく動作するが、データの読み書きができない

・カートリッジの誤消去防止用ツメが書き込み可能の状態になっているか確認してください。→第２章「設置する」の「カートリッジを準備する」（23 ページ）
・必ずソニーの AIT カートリッジを使用してください。また、AIT ドライブに対応しているカートリッジを使用しているか確認してください。
・カートリッジを長時間使用していたり、使用頻度が高い場合は、新しいカートリッジに交換してください。
・カートリッジが破損していないか確認してください。
・AIT ドライブをクリーニングしてみてください。→第５章「AIT ドライブをクリーニングする」の「AIT ドライブをクリーニングする」（39 ページ）

カートリッジが取り出せない

・第４章「ローダーを操作する」の「スロットのカートリッジを取り出す / 交換する」（35 ページ）の操作を行ってください。
それでも取り出せないときは、お買い上げ店にお問い合わせください。
・AIT ドライブに入っているカートリッジが取り出せない場合は、以下の手順で強制的に取り出してください。フロントドアが開いているときは、いったん閉めてから、以下の手順を行ってください。

1 本機前面の DOOR ボタンを５秒以上押し続ける。
メッセージディスプレイに［E J］と点滅表示されます。AIT ドライブに入っているカートリッジが自動的にアンロードされ、元のスロットに戻されます。次に、フロントドアのロックが解除され、メッセージディスプレイに［o P］と点灯表示されます。

メモ
・本機の電源を入れた直後などで、カートリッジを戻すスロットが不明なときは、先頭の空きスロットにカートリッジが格納されます。
・AIT ドライブに入っていないときでも、DOOR ボタンを５秒以上押し続けると、［E J］と点滅表され、フロントドアのロックが解除されます。

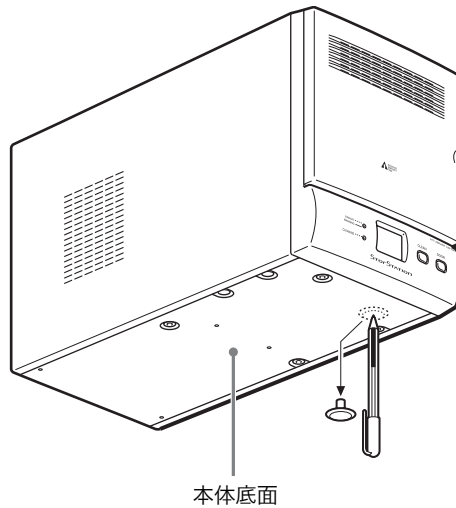
2 ［o P］が点灯表示されたことを確認したら、フロントドアを開け、カートリッジを取り出す。

フロントドアが開かない

DOOR ボタンを押してもフロントドアのロックが解除されないときは、以下の操作を行ってください。

・ 本機前面の DOOR ボタンを 5 秒以上押し続けてください。メッセージディスプレイに［E J］と点滅表示され、フロントドアのロックが解除されます。
・ それでもフロントドアのロックが解除されないときは、以下の図のように本機の底面のキャップを外して、ボールペンの先などでレバーを押し上げると、ロックが外れ、フロントドアが開きます。

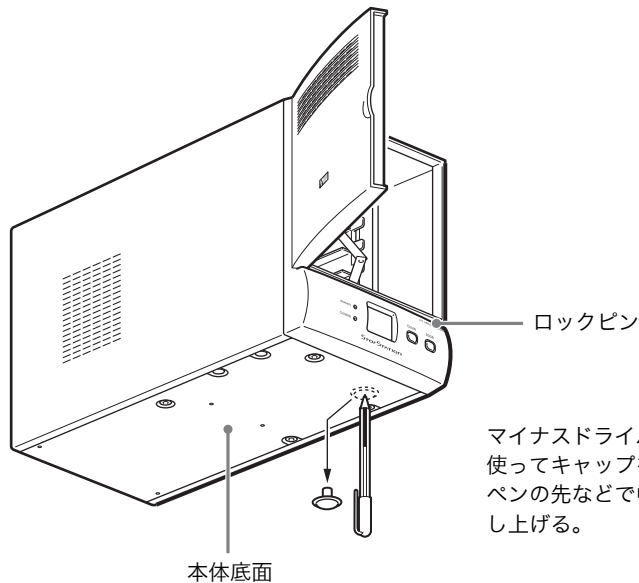
マイナスドライバーの先などを使ってキャップを外し、ボールペンの先などで中のレバーを押し上げる。

本体底面

フロントドアが閉まらない

フロントドアのロックが上がっていて、フロントドアが閉まらなくなったときは、以下の操作を行って、ロックを解除してください。

・ 以下の図のように本機の底面のキャップを外して、ボールペンの先などでレバーを押し上げると、ロックが外れます。
・ レバーを押し上げたままフロントドアを閉めてください。

マイナスドライバーの先などを使ってキャップを外し、ボールペンの先などで中のレバーを押し上げる。

本体底面

その他

フロントドアがきちんと閉まっているか確認してください。フロントドアがきちんと閉まっていないと、本機は次の動作を開始しません。

本機を輸送するときには

移転や修理などで本機を輸送するときには、必ず次のことを行ってください。

・本機にセットされているカートリッジをすべて取り出してください。通常の操作でカートリッジが取り出せないときは、「故障かな？と思ったら」の「カートリッジが取り出せない」（46 ページ）を参照し、カートリッジを取り出してください。

・電源ケーブル、SCSI ケーブル、ターミネーター、ネットワークケーブルなど、すべてのケーブル類を取り外してください。

・梱包するときは、第 2 章の「開梱する」（13 ページ）の手順を逆から行ってください。

主な仕様

ハードウェア

AIT ドライブ

LIB-D81/A5　：SDX-1100（1）
LIB-D81/A4　：SDX-900（1）
LIB-D81/A3X：SDX-800（1）
LIB-D81/A3　：SDX-700（1）
LIB-D81/A2T：SDX-550（1）
LIB-D81/A2　：SDX-500（1）
LIB-D81/A1　：SDX-400（1）

搭載可能ドライブ数

1 台

搭載可能カートリッジ数

最大 8 巻

データ転送レート（Sustained）

	Native
AIT-5	24 MB/s
AIT-4	24 MB/s
AIT-3 Ex	18 MB/s
AIT-3	12 MB/s
AIT-2 Turbo	12 MB/s
AIT-2	6 MB/s
AIT-1	4 MB/s

メッセージディスプレイ
　7セグメントLED、キャラクター表示器：2桁
LED　ランプ2個
外部コネクター
　SCSI　68ピン（2）
　ローダー部
　　Fast Wide SCSI（LVD/SE）
　ドライブ部
　　AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex、AIT-3、AIT-2 Turboドライブ：Ultra 160 SCSI（LVD/SE）
　　AIT-2、AIT-1ドライブ：Wide Ultra SCSI（LVD/SE）
使用環境　動作温度：5～40℃
　動作湿度：20～80%
　（結露のないこと）
電源　AC100V-240V ＋10%/－10%（50/60 Hz）

消費電力	AIT-5モデル	45 W（最大）
	AIT-4モデル	45 W（最大）
	AIT-3 Exモデル	45 W（最大）
	AIT-3モデル	45 W（最大）
	AIT-2 Turboモデル	45 W（最大）
	AIT-2モデル	40 W（最大）
	AIT-1モデル	40 W（最大）

外形寸法　170（W）×224（H）×350（D）mm
質量　7.0 kg

記憶容量

(圧縮時)	AIT-5カートリッジ：	8.32テラバイト
	AIT-4カートリッジ：	4.16テラバイト
	AIT-3 Exカートリッジ：	3.12テラバイト
	AIT-3カートリッジ：	2.08テラバイト
	AIT-2 Turboカートリッジ：	1.66テラバイト
	AIT-2カートリッジ：	1.04テラバイト
	AIT-1カートリッジ：	0.73テラバイト
	(データ圧縮2.6:1の場合)	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なしで変更することがありますが、ご了承ください。

SCSI ケーブル、ターミネーター仕様

SCSI ケーブル

SCSI-3 仕様に準拠した Wide Ultra LVD SCSI ケーブルをお使いください。ただし、AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex、AIT-3、または AIT-2 Turbo ドライブ搭載モデルの場合は、Ultra 160 SCSI LVD ケーブルをお使いください。

SCSI ケーブルの長さ

1 つの LVD SCSI バスで使用する SCSI ケーブルの最大許容長は、以下のとおりです。（内部および外部ケーブルのすべての長さを含む。）

・本機の内部ケーブルの長さは 0.75 m です。
・LVD SCSI の最大許容長は、12 メートルです。

SCSI の構成について

SCSI コンポーネントや SCSI バスの一般的な仕様について説明します。

SCSI コンポーネントについて

SCSI システムは、以下のコンポーネントから構成されています。

・イニシエーター
　コマンドを送信するホストコンピューターシステムです。アプリケーションソフトウェア、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、SCSI ホストバスアダプターカードなどから構成されています。
・バス
　SCSI ホストバスアダプターカードやローダー、SCSI バス上の他のデバイスに接続された SCSI ケーブルにより、コマンドを送信するための道（バス）ができます。
・ターゲット
　ローダーや AIT ドライブは、ホストコンピューターからのコマンドを受信する周辺機器（ターゲット）です。Wide SCSI バスには、最大 16 台のデバイス（ホストコンピューターを含む）を接続することができます。また、Narrow SCSI バスには、最大 8 台のデバイスを接続することができます。

SCSI バスについて

SCSI バスを利用して、本機をセットアップするときは、以下のことに注意してください。

LVD SCSI

本機は、LVD SCSI デバイスです。SCSI バスを介して本機に接続されている SCSI 機器は、必ず LVD SCSI デバイスであることが必要です。

Wide SCSI

本機のインターフェースは、Wide SCSI です。本機を Narrow SCSI バスに接続するときは、50 ピン－68 ピン LVD SCSI ホストバスアダプターを使用してください。また、使用されていないすべてのデータラインが、アダプターにより終端されていることを確認してください。

SCSI ID

1 つの SCSI バス上のデバイスには、それぞれ別の SCSI ID を割り当ててください。ホストコンピューターは、この ID を使用して各デバイスを識別します。また、SCSI ID により、複数のデバイスがホストコンピューターと通信するときの優先順位が決められます。

SCSI IDの優先順位

7	6	5	4	3	2	1	0	F	E	D	C	B	A	9	8

高い ←――　　　　――→ 低い

ご注意
デバイスの SCSI ID は、物理的位置とは関係ありません。

SCSI バスの終端

本機が SCSI バスの終端に接続されるデバイスのときは、使用していない SCSI コネクターにターミネーターを接続し、SCSI バスを終端する必要があります。なお、本機では、ターミネーターに電力を供給することもできます。詳しくは、第 2 章「設置する」の「ディップスイッチの設定をする」（18 ページ）を参照してください。

エラーコード一覧

本機でエラーが起きると、メッセージディスプレイにエラーコードが表示されます。以下は、メッセージディスプレイに表示されるエラーコードの一覧です。
以下のエラーコードが表示された場合は、サービス・サポート窓口にご連絡ください。
また、以下のエラーコード以外のコードが表示された場合は、サービス・サポート窓口にご連絡いただく前に、本機前面の LED や「その他の表示」（55 ページ）の指示に従って、クリーニングまたはカートリッジの交換などの項目をもう一度チェックしてみてください。
それでも具合が悪いときは、サービス・サポート窓口にご相談ください。

エラーコード	説明	表示のしかた	ログに格納
00	有効なエラーコード情報が存在しません。	—	—
01	電源オン初期化時に、マイクロコードの異常を検出しました。	［0 1］が点灯	—
02	電源オン初期化時に、RAM（ベース領域）の異常を検出しました。	［0 2］が点灯	—
03	電源オン初期化時に、RAM（バッファ領域）の異常を検出しました。	［L ］、［0 3］が交互に点灯	—
20	Selection 後の Identify メッセージで SCSI パリティエラーを検出しました。	—	○
21	SCSI パリティエラーを検出し、Message Out フェーズをリトライしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
22	SCSI パリティエラーを検出し Command フェーズをリトライしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
23	SCSI パリティエラーを検出し Data Out フェーズをリトライしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
24	Message Parity Error メッセージを検出し Message In フェーズをリトライしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
25	Initiator Detected Error Message を受領し、Message フェーズのリトライをしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
26	Initiator Detected Error Message を受領し、Command フェーズのリトライをしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
27	Initiator Detected Error Message を受領し、Status フェーズのリトライをしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
28	Initiator Detected Error Message を受領し、Data In フェーズのリトライをしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
29	Initiator Detected Error Message を受領し、Data Out フェーズのリトライをしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
2A	SCSI I/F で、不正なメッセージを受領しました。	—	○
2B	SCSI IF で、不正な Identify メッセージを受領しました。	—	○
2C	Reselection が失敗し、リトライをしましたが、リトライオーバーとなりました。	—	○
2F	SCSI I/F で、REQ/ACK ハンドシェークタイムアウトまたは制御チップ割り込み待ちタイムアウトとなりました。	—	○
30	Unit Attention 事象を報告しました。	—	○
31	SCSI I/F で、未サポートの LUN を指定されました。	—	○
32	ローダーが Becoming Ready 状態にあります。	—	○
33	ローダーのフロントドアが開いています。	—	○
34	リプログラミングモード中です。	—	○
35	メニューモード中です。	—	○
36	Information Exception Condition を報告しました。	—	○

エラーコード	説明	表示のしかた	ログに格納
41	ドライブ I/F で、ドライブからのデータ受信タイムアウトになりました。	[L]、[4 1] が交互に点灯	○
42	ドライブ I/F で、ドライブから受信したデータの長さが異常です。	[L]、[4 2] が交互に点灯	○
43	ドライブ I/F で、ドライブのオフラインを検出しました。	[L]、[4 3] が交互に点灯	○
70	較正情報測定データの異常を検出しました。（ロワセンサー測定データ異常）	[L]、[7 0] が交互に点灯	○
71	較正情報測定データの異常を検出しました。（ノッチ測定データ異常）	[L]、[7 1] が交互に点灯	○
72	較正情報測定データの異常。（ドライブベゼル下エッジの較正時、上限値以上の較正が必要でした。）	[L]、[7 2] が交互に点灯	○
78	カートリッジの取り込み失敗によるリカバリー動作時に、空きスロットがないためリカバリーできませんでした。	[L]、[7 8] が交互に点灯	○
7A	ドアロック動作後、ドアクローズセンサーがクローズ状態になりませんでした。	[L]、[7 A] が交互に点灯	○
7B	ドアロックの動作時に、ドアロックセンサーがロック状態になりませんでした。	[L]、[7 B] が交互に点灯	○
7C	ドアアンロックの動作時に、ドアロックセンサーがアンロック状態になりませんでした。	[L]、[7 C] が交互に点灯	○
80	ハンド移動中に、GAP BLOCK 状態を検出しました。	[L]、[8 0] が交互に点灯	○
81	ハンド移動時に、規定のノッチ数を検出できませんでした。	[L]、[8 1] が交互に点灯	○
82	ハンド移動時に、最終ノッチパルスが基準値の ± 3 mm 以上のズレを検出しました。	[L]、[8 2] が交互に点灯	○
83	ハンド移動時に、ノッチ間の 1.5 倍移動してもパスセンサーが変化しませんでした。	[L]、[8 3] が交互に点灯	○
88	イニシャライズ MOVE 時に、ハンドロワエッジ（原点）を検出できませんでした。	[L]、[8 8] が交互に点灯	○
89	較正情報測定 MOVE 時に、ハンドロワエッジを検出できませんでした。	[L]、[8 9] が交互に点灯	○
8A	較正情報測定 MOVE 時に、ノッチエッジを検出できませんでした。	[L]、[8 A] が交互に点灯	○
90	ピッカーの動作終了時に、GAP BLOCK 状態を検出しました。	[L]、[9 0] が交互に点灯	○
91	ピッカーの移動時に、RVS センサーを検出できませんでした。	[L]、[9 1] が交互に点灯	○
92	ピッカーの移動に、FWD センサーを検出できませんでした。	[L]、[9 2] が交互に点灯	○
93	イニシャライズ MOVE 時に、RVS/FWD センサー原点）を検出できませんでした。	[L]、[9 3] が交互に点灯	○
98	GET 動作時に、カートリッジの取り込みに失敗しました。（GET 動作後、CTRG. センサが検出できない）	[L]、[9 8] が交互に点灯	○
99	GET リトライ時に、GAP クリア動作で GAP をクリアできませんでした。	[L]、[9 9] が交互に点灯	○
9A	GET 動作時のピッカー移動で、RVS センサーを検出できませんでした。	[L]、[9 A] が交互に点灯	○
9B	GET 動作時のピッカー移動で、FWD センサーを検出できませんでした。	[L]、[9 B] が交互に点灯	○
9C	PUT 動作後、GAP BLOCK 状態を検出しました。	[L]、[9 C] が交互に点灯	○

エラーコード	説明	表示のしかた	ログに格納
9D	PUT 動作後、パスセンサーにてカートリッジなしを検出しました。	[L]、[9 D] が交互に点灯	○
9E	PUT 動作時のピッカー移動で、RVS センサーを検出できませんでした。	[L]、[9 E] が交互に点灯	○
9F	PUT 動作時のピッカー移動で、FWD センサーを検出できませんでした。	[L]、[9 F] が交互に点灯	○
A0	スロットエンプティを検出しました。	[L]、[A 0] が交互に点灯	○
A1	ピッカー内にカートリッジを持っているため、GET 動作ができません。	[L]、[A 1] が交互に点灯	○
A2	スロットフルを検出しました。	[L]、[A 2] が交互に点灯	○
A3	ピッカー内にカートリッジを持っていないため、PUT 動作ができません。	[L]、[A 3] が交互に点灯	○
A4	ピッカーが RVS 位置にある状態で、GET 動作を要求されました。	[L]、[A 4] が交互に点灯	○
A7	センサー異常を検出しました。(GAP or カートリッジ or パス)	[L]、[A 7] が交互に点灯	○
A8	ドライブ Hardware Error を検出しました。	[L]、[A 8] が交互に点灯	○
A9	ドライブ Medium Error を検出しました。	[L]、[A 9] が交互に点灯	○
AA	ドライブ PUT 動作時に、3 秒経過してもMOUNT 状態になりませんでした。	[L]、[A A] が交互に点灯	○
C0	マイクロコード更新時に、チェックサム異常を検出しました。	—	○
C1	マイクロコード更新時に、F/W ID の異常を検出しました。	—	○
C8	ドライブ内から媒体排出時に、タイムアウトを検出しました。	[L]、[C 8] が交互に点灯	○
E0	Flash メモリーへのデータ書き込み時に、1ms以内に書き込み動作が終了しませんでした。	[L]、[E 0] が交互に点灯	○
E1	Flash メモリーのセクタークリア時に、10s 以内にクリア動作が終了しませんでした。	[L]、[E 1] が交互に点灯	○
E8	Flash メモリー内の装置設定情報領域に関してチェックサム異常を検出しました。	[L]、[E 8] が交互に点灯	○
F0	GAP センサーの異常を検出しました。	[L]、[F 0] が交互に点灯	○
F1	パスセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 1] が交互に点灯	○
F2	カートリッジセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 2] が交互に点灯	○
F3	ピッカーフォワードセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 3] が交互に点灯	○
F4	ピッカーリバースセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 4] が交互に点灯	○
F5	ハンドロアセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 5] が交互に点灯	○
F6	ドアロックセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 6] が交互に点灯	○
F7	ドアクローズセンサーの異常を検出しました。	[L]、[F 7] が交互に点灯	○

その他の表示

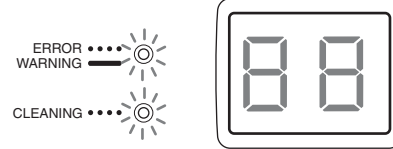
通常動作時の表示パネルの内容

左側表示パネル	右側表示パネル	説明
8（点灯）	8（点灯）	電源オン直後。
⁼ が上下に順次点滅	0 ➔ 3 に推移	イニシャライズ中。（イニシャライズ中は、ERROR/WARNING LED、CLEANING LED も点滅。）
⁼ が上下に順次点滅	移動中のカートリッジ No. の点滅	カートリッジの搬送中。
	カートリッジの巻数の点灯	待機中。 ローダー内のカートリッジ巻数を表示。
⊓ が時計回りに回転	動作中のカートリッジ No. の点滅	AIT ドライブの動作中。
o（点滅）	P（点滅）	フロントドアのロックの解除動作中。
o（点灯）	P（点灯）	ロックが解除され、フロントドアを開けられる状態。
C（点滅）	L（点滅）	CLEAN ボタンが押されているとき、およびクリーニング動作中。（57 ページのご注意の 7 項を参照）
E（点滅）	J（点滅）	カートリッジの強制受け付け / 排出中。（57 ページのご注意の 4 項を参照）
d（点滅）	r（点滅）	ディザスターリカバリーモードの受け付け / 動作中。（下記のメモ参照）

メモ

ディザスターリカバリー機能については、第 3 章「基本的な使いかた」の「ディザスターリカバリー機能について」（30 ページ）を参照してください。

異常発生時

異常発生時は、ERROR/WARNING LED または CLEANING LED が点滅または点灯し、表示パネルに以下のコードが表示されます。

LED	光りかた	コード	説明	対処方法
ERROR	●●●● 点滅（オレンジ色）	L ⇄ X X （交互に表示）	ローダーのエラー。	システムの再起動、電源のオン / オフを行い、エラーが消えるか確認してください。それでもエラー表示が消えない場合は、サービス・サポート窓口にエラーコードを伝え、修理を依頼してください。エラーコードが L ⇄ X X の場合のエラーの内容は、「エラーコード一覧」（51 ページ）を参照してください。
		d ⇄ X X （交互に表示）	AIT ドライブのエラー。	
		C ⇄ X X （交互に表示）	データカートリッジのエラー。	AIT ドライブのクリーニングを行った後、データカートリッジを交換してください。それでも同じ症状が解決されない場合は、サービス・サポート窓口に修理を依頼してください。
WARNING	▬ 点灯（オレンジ色）	0 1	カートリッジの挿入不備。	フロントドアを開け、カートリッジをきちんと入れ直してください。
		0 3	クリーニング指示時に、クリーニングカートリッジがセットされていなかった。	クリーニングカートリッジをスロット CL/8 にセットしてください。
		0 4	クリーニング指示時に、誤ってスロット CL/8 にデータカートリッジをセットしてしまった。	クリーニングカートリッジをセットしてください。
		0 5	アプリケーションプログラムがフロントドアオープンを禁止中に DOOR ボタンが押された。	ドアオープン操作を行わないでください。
		0 6	本機内部の温度が高くなった。	室温が動作範囲内（5 ～ 40 ℃）であるか、およびファンが動作しているか確認してください。
		0 7	部品の交換の時期がきた。	部品の交換をサービス・サポート窓口に依頼してください。
		0 8	ローダー内に規定数以上のカートリッジが入っている。(すべてのスロットと AIT ドライブにカートリッジが入っている。)	ローダー内からカートリッジを 1 本以上取り出してください。
		0 9	本機内部の温度が動作保証範囲以下になった。	室温が動作範囲内（5 ～ 40 ℃）であるか確認してください。
		1 0	クリーニングカートリッジのテープを使い切った。	新しいクリーニングカートリッジと交換し、再度クリーニングを行ってください。
		1 1	クリーニングに失敗した。	再度クリーニングを行ってください。

LED	光りかた	コード	説明	対処方法
CLEANING	●●●● 点滅（緑色）	C L	AIT ドライブのクリーニング要求。	クリーニングを行ってください。再度 LED が点滅する場合は、3 回を目安にクリーニングを繰り返してください。また、クリーニングカートリッジのテープを使い切っていないことを確認してください。それでも LED の点滅が消えない場合は、サービス・サポート窓口に修理を依頼してください。(57 ページのご注意の 7 項を参照)

ご注意

1 クリーニングするときは、クリーニングカートリッジをスロット CL/8 に入れてから、CLEAN ボタンを 3 秒間押し続けてください。

2 フロントドアが開かない場合は、バックアップソフトウェアによってロックされている場合があります。

3 エラー発生時に AIT ドライブからカートリッジが排出されない場合は、次の手順を順に行ってみてください。

(1) DOOR ボタンを 5 秒以上押し続ける。
強制的のカートリッジがイジェクトされ、フロントドアのロックが解除されます。

(2) 本機の電源を入れ直す。

(3) システムを再起動する。

4「E J」の点滅中や「⊓」マークの回転中は、ローダーまたはドライブが動作しています。書き込み状態の悪いカートリッジによっては、カートリッジの認識に 20 分程度かかることがあります。

5 CLEAN ボタンと DOOR ボタンを同時に 5 秒間押し続けると、ディザスターリカバリーが実行されます。

6 コード早見表の「XX」は、エラーコードを意味します。

7 クリーニング動作は、通常は約 1 分で終了します。クリーニング開始の操作をしたときに、すでに AIT ドライブにカートリッジがセットされていた場合には、ドライブ内のカートリッジを自動的にスロットに戻しクリーニング動作を開始しますので、さらに時間がかかります。
書き込み状態が悪いカートリッジでは、アンロードの処理に時間がかかる場合があります。その場合、クリーニング処理に 20 分程度かかる場合があります。

索引